

【VEE操作手順】VEEのDirect IOからRS232C経由して計測器にコマンドを送りたいが、どのようにすれば良いですか？

Notices

© Keysight Technologies Incorporated, 2002-2020

1400 Fountaingrove Pkwy., Santa Rosa, CA 95403-1738, United States All rights reserved.

No part of this documentation may be reproduced in any form or by any means (including electronic storage and retrieval or translation into a foreign language) without prior agreement and written consent from Keysight Technologies, Inc. as governed by United States and international copyright laws.

Restricted Rights Legend

If software is for use in the performance of a U.S. Government prime contract or subcontract, Software is delivered and licensed as "Commercial computer software" as defined in DFAR 252.227-7014 (June 1995), or as a "commercial item" as defined in FAR 2.101(a) or as "Restricted computer software" as defined in FAR 52.227-19 (June 1987) or any equivalent agency regulation or contract clause.

Use, duplication or disclosure of Software is subject to Keysight Technologies' standard commercial license terms, and non-DOD Departments and Agencies of the U.S. Government will receive no greater than Restricted Rights as defined in FAR 52.227-19(c)(1-2) (June 1987). U.S. Government users will receive no greater than Limited Rights as defined in FAR 52.227-14 (June 1987) or DFAR 252.227-7015 (b)(2) (November 1995), as applicable in any technical data.

Portions of this software are licensed by third parties including open source terms and conditions.

For detail information on third party licenses, see [Notice](#).

【VEE操作手順】VEEのDirect IOからRS232C経由して計測器にコマンドを送りたいが、どのようにすれば良いですか？

Contents

【VEE操作手順】VEEのDirect IOからRS232C経由して計測器にコマンドを送りたいが、どのようにすれば良いですか？

RS232C(Serial)経由での計測制御を行いたい場合は、PCに標準搭載されているCOMポート (COM1/COM2)を、I/O Libraryによって供給されるユーティリティで認識させれば、VEEからRS232C制御ができるようになります。

以下は、VEEでのRS232Cセットアップ手順です。

＜参考＞ Online Help -> Direct I/O

シリアル通信で、"*RST"といったコマンドに合わせて、ASCIIコード<LF>を送信する場合の設定を例にご紹介いたします。

1) I/O Configで、COMポートを登録します。

スタート -> IO Libraries -> I/O Configを起動して下さい。

※ VEEでRS232Cをご利用になる場合は、Keysight IO LibraryをPCにインストールされる必要があります。Keysight I/O LibraryはVEEに付属していたCD-ROMもしくは、以下のWebよりダウンロードできますので、ご利用ください。(要登録)

<http://www.agilent.com/find/iolib>

2) 左側のAvailable Interfaceより、RS-232を選んで、Configureボタンを押します。

3) COM1を選んでEditボタンを押し、次の画面は以下のような設定でOKにして下さい

Port Number: 1

Logical Unit: 1

SICL Interface Name: COM1

VISA Interface Name: ASRL1

上記以外は、通信相手先（計測器）の設定に合わせて下さい。

4) 設定が完了したら、OKでぬけて、I/O Configを終了します。

以上でI/O ConfigによるI/Oセットアップが完了です。

5) VEEを起動します。

6) VEEのInstrument Managerで、Add .. を選びます。

次の画面の設定は以下ようになります。

Name: 好きなデバイス名で登録

Interface: Serial

Address: 1

Gateway: This host

Advanced I/O Config画面は、

Generalタブ -> タイムアウトがDefault 5(sec)

Serial タブ -> 各種シリアル通信用設定項目あり

Direct I/Oタブ -> ターミネータの指定

Defaultが"\n" <new line=LFを示しています。>

注意) ターミネータにつきましては、任意の文字などを設定することができなくなっております。

【VEE操作手順】VEEのDirect IOからRS232C経由して計測器にコマンドを送りたいが、どのようにすれば良いですか？

通常測定器は、<LF> or <CR>を使用しているため、このどちらかもしくは両方を使用することはできませんが、

任意の文字をターミネータにすることはできませんので予めご了承ください。

7) 以上で、必要な設定は完了しました。

Instrument Managerの画面に戻って、登録したデバイス名でDirect I/Oを開きます。

8) 空白部分でダブルクリックをし、I/O Transactionを開きます。

WRITE TEXT `"*RST" EOL`

と入力して実行させると、測定器にはシリアルで `"*RST"+<LF>` が送られていきます。

